

# H26年度 第1回高知市地域アクションプランフォローアップ会議の概要

日時：9月10日（水）13:30～16:00

場所：高知県工業技術センター2階研修室

## 1 議事等

- (1) 産業振興計画関連 年間スケジュールについて
  - ・H26年度のスケジュールを説明
- (2) 地域アクションプランについて
  - 1) 第2期高知市地域アクションプランの進捗状況等について
    - ・上半期の進捗状況について説明
- (3) 産業成長戦略について
  - 1) 地域観光について説明
  - 2) 移住促進の取り組みについて説明

## 2 意見交換

<産業振興計画関連 年間スケジュールについて>

- ・特になし

<地域アクションプランについて>

- ・稲作は、今夏の台風と長雨で等級が下がったうえ、雨の中での刈り取りを余儀なくされ農機具の故障も発生し、26年産の米価安もあって、離農・耕作放棄地の拡大が懸念される。
- ・ナツヒカリの需要が減っているが、地域での生産がコシヒカリに集中するようになるとライスセンターの処理能力の問題が出てくる。ナツヒカリの飼料米化により、南国そだち～ナツヒカリ～コシヒカリのリレー出荷を目指したい。
- ・耕作放棄地は、キュウリをはじめ施設園芸の病害虫の繁殖につながる危険性もある。  
→農地中間管理機構を立ち上げ、担い手への農地集約化に向けた新しい仕組みが始まっている。農地を出した人への支援策も用意しており、地域の皆さんと一体となって取り組んでいきたい。
- ・針木地区のナシに関してカラスの対策には成果が出て被害が減っているが、一方でハクビシンによる被害が出てきており、この対策が必要な状況。
- ・荒倉山系でのミカン栽培では猪による被害が大きくなっている。針木のカラス対策と同様、合同・広域的に対策を練らなければならない。
- ・ミカン栽培において糖度の低い赤い実がなるほか、国内の栽培北限が日本海まで伸びるなど、柑橘生産で温暖化による状況変化がみられる。将来を見据え、いろいろな品種で試験しているが、愛媛県においても同様の対策が考えられている模様。

- ・市町村では試験場を持っておらず、県果樹試験場等による支援を期待する。  
→一次なる品目は産業振興計画の成長戦略の分野でも議論を深めるべきテーマであり、農業振興部門にしっかり話をする。
- ・高知市の漁業は厳しい状況だが、漁業者が市内の企業と協力し、エガニの種苗生産・浦戸湾への放流の新たな取り組みが始まっている。
- ・食品加工関連では首都圏等のバイヤーの来高が増えているが、商材探しと併せて細かい加工を地方に求めてくることが多くなってきている。首都圏で食品加工や調理の現場での人手不足が伺え、高知においてはこれをチャンスに細かい加工をやって供給する対応もあるが、県内食品関係でも工場関係の人手不足の声が増えてきつつある。
- ・食品工業分野での人手不足は工業会でも認識し、対応できる装置開発・機械化・ものづくり地産地消に取り組んでいる。10年後の新卒者減少を踏まえ、雇用確保と生産体制をどう整えるかが課題。
- ・豪雨によりよさこいの前夜祭が中止になり、よさこい関連の宿泊では予約の6割がキャンセルになった。その後も県外のお客様には、高知は台風被害が大きくて観光は大丈夫かという認識があり、市観光協会と観光コンベンション協会が連携して関西・首都圏の旅行会社主要店舗での店頭キャンペーンなどを計画している。
- ・前夜祭のリハーサルを見るために8月8日から高知入りする県外客もいる。花火大会が前夜祭と同日なのはもったいないとの声もあり、花火を13日に行えば、8日～13日まで長く観光客が楽しめるようになる。  
→よさこい祭りにいろいろ広がりが出てきてこれからどうするか、祭振興会で話されている。各関係機関の役割分担もあるなか、全体最適の視点で議論を進めるべきで、県として日程のご意見も伝えていく。
- ・スーパーよさこいは金銭的負担が大きく、県内のよさこいチーム・踊り子が減少している。高知のよさこいにブランド力を付けて文化を継承するには、踊り子に誇りを持ってもらうなど数値指標には表れないものも大事。
- ・よさこい全国大会で来高する県外チームの中には鳴子を持つのは一瞬だけとか、後ろへバックするチームもあり、ブランドとして育てるためにはルールをしっかりとらせるべきではないか。
- ・後継者がいないことによる廃業が目立ってきた。また、育児のために仕事を辞める女性が多く、病院の院内保育のようなことを企業、あるいは業態でできるようになればこうした女性の職離れを止めることができるのではないか。

#### <産業成長戦略について>

- ・食による観光商品化について、食材の漁期や旬に応じた組み立てが必要。
- ・よさこいや四万十への憧れだけで移住してきた方は短期間で帰ってしまうことも多

い。ここで根を張って暮らすという感覚が味わえる何かがあれば定着すると思う。

■お問い合わせ先

高知県産業振興推進部計画推進課（地域産業担当）

電話 088-823-9334

FAX 088-823-9255

メール 120801@ken.pref.kochi.lg.jp